



『 不銹鋼 (ふしゅうこう) 』

わが国でステンレス鋼が研究されはじめたのは1918年、特殊鋼の開拓者とたたえられる、東北帝国大学金属材料研究所（当時、臨時理化研究所と呼ばれた）の村上武次郎による合金の研究です。

ステンレス鋼の研究論文は1924年、海軍の吉川晴十『Ni-Cr鋼に関する研究』タービン翼材の開発でした。陸軍では川上義弘が世界中から集めたステンレス鋼の性質調査を行いました。

ステンレス鋼の名称について海軍ではステンレス鋼を始めから不銹鋼（ふしゅうこう）と呼んでいました。ただし、銹の字は、元字の金へんに肅でした。陸軍では当初、不銹鋼（ふせいこう）と呼んでいましたが、たまたま研究員の病死などで研究が中断しました。以降、大成功の縁起をかついで耐銹鋼（たいせいこう）と名前をかえました。

1936年（昭和11年）には、『金属鉱物標準用語』の中で『不銹鋼』という名称に統一され、現在はステンレス鋼と呼ばれています。

2002年、上海の造船所と関連工業を、3泊4日の日程で視察する機会に恵まれました。そのとき今も使われている『不銹鋼』の文字に懐かしさを感じました。それはフートン造船所の玄関で、ステンレス製のごみ箱でした。『高級不銹鋼 果皮箱』と書いたシールが張られていました。同行の若い友人に尋ねると、そんな言葉は知らないと言われました。

中国人はステンレスが大好きなようです。窓から真っ直ぐ前に突き出した中国風の物干しや歩道橋の手すり、ステンレス鋳鋼の10トンは超えると思われる公園のモニュメントなどなど日本よりも多く見かけました。

呼び名の変遷

不銹鋼 (ふしゅうこう)	1924年
不銹鋼 (ふしゅうこう)	1936年
ステンレス鋼	現在



参考資料 ステンレスのおはなし 日本規格協会
住友金属工業60年小史
ステンレス鋼技術史 日本金属工業株式会社

むらの鍛冶屋®

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/ryou@memenet.or.jp>



何でもお気軽にお尋ねください！！